



獣医
学科

毒性学研究室

KEY
WORD

医薬品/環境汚染物質/安全性
野生動物/リスク評価/SDGs/One Health

研究
テーマ

AIを用いた環境汚染物質の野生動物への影響評価
金属ナノ粒子が水圏生態系に与える毒性影響の解明

ミッション

人・野生動物双方の健康を守る“One Health”の実現

現在約2億種もの化学物質が発見されており、これらは私達の生活に欠かせないものです。しかしこれらは環境汚染物質として人・野生動物の双方へ健康被害を与える事があります。このような環境汚染問題の解決は国連が掲げる持続可能な成長目標“SDGs”にも含まれ、国際的に解決すべき問題です。

そこで当研究室は化学物質が生物に与える毒性影響とその評価法を研究しています。フィールドワークやさらにはシミュレーション・機械学習といった最新技術も取り入れ、人・野生動物双方の健康を守るという“One Health”の実現を目指し、動物のプロフェッショナルである獣医師としての目線を持った研究を行っています。